

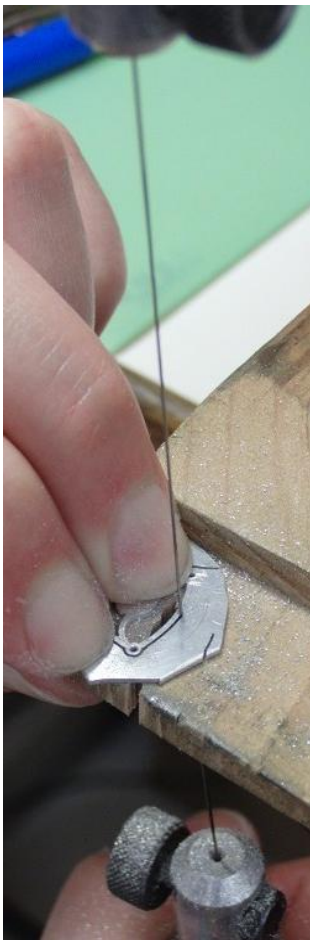
Masahiro Kikuno

菊野昌宏は1983年日本で生まれました。彼はヒコ・みづのジュエリーカレッジを卒業した後、同校で講師をしながら時計制作を始めました。2011年にAHCIに加入し、バーゼルワールドで和時計を発表しました。



彼の時計制作の大きな特徴は「手作業」というところです。糸鋸を使って受けやトゥールビヨンケースを切り出し、文字板の文字を筆で書き入れています。使い慣れた工具はまさに手の一部となるのです。

なぜ「手作業」なのか。以前の彼は多くの人々が考えるように、時計を作るためには、大掛かりな機械やたくさんの工具、立派な設備、潤沢な資金が必要だと思っていました。そして彼には機械も工具も設備も資金もなかったのです。時計を作ることは不可能だとあきらめていました。



そんな時、和時計の最高傑作、「万年時計」を分解し調査するプロジェクトの番組を見る機会がありました。

その中で、ひとつの歯車が紹介されていました。昔の日本の時計師が一歯一歯ヤスリだけで削りだした歯車でした。それを見て、歯車は専用の機械とカッターで作るものと思っていた彼は衝撃を受けました。

そして昔には、現代のような優れた工作機械もコンピューターも存在しないという、当たり前の事実気がつきました。

何よりもその歯車には、時計を作り上げようとする時計師の強い意志と情熱が感じられました。

そして彼は強く思いました。「意志と情熱があれば、部品は手作業で作れる。思いのこもった部品で時計が作れる。」と。

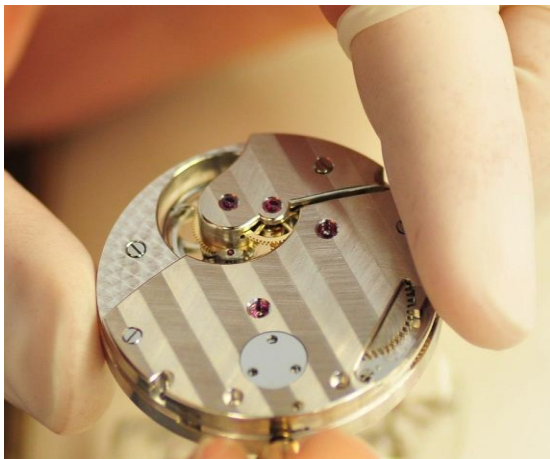
こうして「手作業」という彼のスタイルが確立したのです。

Tourbillon 2012



このトゥールビヨンウォッチは、菊野昌宏による「手作業」によって作られたユニークピースです。

この時計は、私の人生の一部に等しい。



■SPEC

Tourbillon 2012

ケース径: 43mm

機械: cal.mk12
トゥールビヨン
手巻き

その他: シースルーバック
限定1本